

光が丘秋の陽小学校における児童との意見交換会 平成30年5月24日実施

	質問・要望(要旨)	回答(要旨)
1	<p>教育委員会は、どのような仕事をしていますか。</p>	<p>教育委員会は、教育長と教育委員4名の合わせて5名のメンバーで、月2回会議を行っています。</p> <p>教育委員会では、学校の土地や建物、いろいろな設備などを管理する仕事があり、トイレなど校舎の設備や施設に関する改修を行っています。また、皆さんの使う教科書をどれがよいか選んだり、先生方など教職員の研修や人事関係、子供たちの入学や転学なども教育委員会の仕事です。</p> <p>また、小学校や中学校に関する仕事以外にも、保育園や幼稚園に通っている子供たちのための仕事も教育委員会で行っています。教育委員会では、練馬区の子供たちに関わるありとあらゆる仕事をしていると考えてもらえると分かりやすいと思います。</p> <p>そのようなたくさん仕事をするために、教育委員会には「事務局」という事務的な仕事を行う職員がいて、実際には大勢の職員が練馬区の子供たちのために様々な仕事をしています。</p>
2	<p>なぜ、学校に携帯電話を持ってきてはいけないのですか。最近、危ない事件が多いし、保護者は仕事をしていることが多いので、何かあったときのために連絡ができる方がよいのではないのでしょうか。</p>	<p>携帯電話を学校に持って来ないこととされている大きな理由は、携帯電話を持っている子供が勉強と関係のないことをしたり、授業中に着信音が鳴ったりして勉強に集中できなくなったりすることが考えられるからです。また、携帯電話はとても値段の高いものなので、学校で壊れたり無くなってしまったりしても困ります。</p> <p>危ないことや困ったことがあったら、いつでも学校の先生方に相談してください。登下校の時に心配なことがあったときは、近くのお店や「ひまわり110番」の家に助けを求めることもできます。皆さんの家族の他にも皆さんを守ってくれる大人が地域には大勢いますから、安心して生活してください。</p> <p>どうしても学校に携帯電話を持ってくる必要がある場合は、おうちの人を通じて学校に相談するようにしてください。</p> <p>また、学校から何か緊急に伝えることなどがある場合には、学校の先生からおうちの人にメールや電話でお知らせすることも行っています。</p>
3	<p>なぜ、給食の食器は陶器なのですか。プラスチックの方が割れる心配がないのでよいと思います。プラスチックの方が値段が安いのではないのでしょうか。</p>	<p>給食で使っている食器は陶器と似ていますが、実際は磁器でできています。磁器は皆さんの家庭でも食器としてよく使われています。磁器製の食器を使うことにより、家庭と同じような温かみのある給食を味わってもらえたらという思いを込めて、練馬区では区内すべての小中学校でこの食器を使っています。特に練馬区で使っている食器は「強化磁器」で作られており、耐久性や安全性で優れています。</p> <p>プラスチック食器はキズが簡単についたり、何回も洗っているうちに弱くなったりしてしまいます。強化磁器製の食器はずっと使用することができるため、長い目で見れば、経済的にも効果があります。</p>

	質問・要望(要旨)	回答(要旨)
4	移動教室が、5・6年生だけなのはなぜですか。	<p>移動教室で初めてお父さんやお母さんのもとを離れて宿泊する人も多く、集団での宿泊生活は、おうちでの生活と比べて負担を感じる場面もあります。このため、高学年から移動教室を行っています。</p> <p>5年生になると、信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校生活をつくれるようになります。そのような中、豊かな自然に触れ、ふだん経験できないことを移動教室でいろいろ感じ、また、保護者の方から離れることで、家族で過ごすことのありがたさを感じてもらいたいと思います。</p> <p>6年生は2回目の共同生活になります。2回目になるとだいぶ慣れてきて、いろいろなことが経験できるようになっているので、3泊4日という、5年生よりも1日多い日程で行います。1年前よりもたくさんのことを経験してもらうためです。</p> <p>移動教室で経験したことを生かして、これからも勉強や学校生活に興味を持っていていただきたいと思います。</p>
5	冬は手がかじかむので、なかなか時間をかけて手洗いができません。温水が出るようにしてほしいです。	<p>学校の廊下の流しやトイレの手洗いで温水が出るようにするには、大きなボイラーや給湯器、水用の管のほかにお湯用の管を新しく取り付ける必要があります。また蛇口の取替も必要となるので、大がかりな工事を行わなければならない、たくさんの費用がかかります。</p> <p>今、教育委員会では、学校のトイレを洋式化したり、体育館を快適に使えるように空調機を取り付けていくことを優先的に進めています。また、古くなった校舎も多いので、建て替えもしていかなければなりません。このため、温水で手洗いができるようになるのは、まだまだ先のこととなるかと思います。</p> <p>風邪の予防などの衛生面を考えると手洗いはやはり大切です。冬場は水が冷たくてつらいかもしれませんが、頑張って手洗いをしてください。</p>
6	どうして教科によって、1週間の授業時間が違うのですか。	<p>日本では、どこの公立小学校に通っていても、同じ勉強ができるよう、教科の種類や教える内容が決められています。また、どの教科の勉強を1年間にどのくらい行うかも決められています。それぞれの教科で1年間に勉強する時間数がちがうので、1年間に勉強する時間の多い教科は、1週間の授業時数も多くなりますし、反対に1年間に勉強する時間の少ない教科は、1週間の授業時数も少なくなるということになります。</p> <p>具体的に国語と図画工作を例にすると、小学校6年生の国語は1年間に最低175時間行うこととされています。また、図画工作は最低50時間行うことになっています。175時間と50時間ですから、当然1週間の中では国語の勉強のほうが多くなります。図画工作も大切な勉強ですが、皆さんの年代では国語の勉強をたくさんしてもらいたいと考えているということです。</p> <p>先生たちはこれに従って、皆さんに計画的に勉強を教えています。</p>

	質問・要望(要旨)	回答(要旨)
7	<p>移動教室は、どの学年も同じ場所にいくようにできないのでしょうか。</p>	<p>移動教室は、自然が少なくなった都会を離れて澄んだ空気と自然の中で、皆さんにいっそう健康になってもらいたいこと。その土地の歴史やその地に生息する動植物、地形等の観察による学習をしてもらいたいこと。いっしょにご飯を食べて、いっしょに寝泊りをすることによって、友達同士の交流、また、先生との交流を深めることなどを目的として、行っています。</p> <p>移動教室の行き先は、山方面2か所、海方面2か所の計4か所がありますが、行き先が同じ場所では、体験できることが限定されてしまいます。そこで、皆さんにより多くのことを知ってもらうために、5年生で海方面に行ったときは6年生では山方面というように異なる場所に行くようにしています。</p> <p>皆さんには、より多くの体験をしてもらい、自然への理解を深めていただきたいと思います。</p>
8	<p>どうして学校の扉は、横開き(スライド)の物が多いのですか。</p>	<p>秋の陽小学校では、教室や職員室など、廊下に面した部屋の扉は横開きのものがほとんどです。これは、秋の陽小学校に限らず、練馬区内や全国どこの小中学校でも同じだと思います。</p> <p>開き戸は外側に開けたり、内側に引いたりします。学校にはたくさんの方がいるので、扉を外に開けたときに人が立っていたら、ぶつかってしまう可能性があります。怪我をしてしまうこともあるかも知れません。</p> <p>このように学校の扉が、横開きになっているのは、開閉時の安全性を考えて、皆さんがけがをしないようにするためです。</p>
9	<p>どうして秋の陽小の校庭には、ブランコがないのですか。</p>	<p>校庭は、体育の授業や運動会で使います。また、昼休みなどに1年生から6年生までみんなが使うために、できるだけ広く、形も良くする必要があります。その中で、体育の授業で使う鉄棒、雲梯、登り棒や、ジャングルジムのような遊具を、校庭が狭くならないように考えながら設置しています。</p> <p>なぜブランコがないのかについてです。学校の校庭にどのような種類の遊具を設置するかは、それぞれの学校で判断しています。</p> <p>ブランコは比較的広い面積が必要なため、校庭がより狭くなってしまうこと、台がほかの子供に当たったり、乗っている子供が落ちたりして、怪我をすることもあるため、安全面を考えて秋の陽小学校には設置していません。</p> <p>皆さんには、今、校庭にある遊具を使って、いろいろな遊び方を考えてもらえると嬉しいです。</p>